

# 枕崎市 令和5年9月号 地域学校協働活動だより

パソコンで検索 **枕崎市地域学校だより** 検索

スマホで読み取り



発行  
枕崎市  
教育委員会  
生涯学習課

「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されています。スマホで読み取ったり、パソコンで検索して、カラー写真付きの記事をご覧ください。

## ～創立150周年記念焼酎の原料に… 今年は早めの芋の収穫～ 枕崎小学校

枕崎小学校では8月21日に3年生2クラス約50人が、学校敷地内にある芋畑で「からいも」の収穫を行いました。「からいも探検隊」の授業の一環で、ボランティアの山崎己代治さんと松崎伸男さん、JA南さつま枕崎支所の方に指導していただき、子供たちが手掘りで大きな芋を掘り出しました。

枕崎小学校は今年が創立150周年を迎え、11月11日に記念式典が行われますが、それに合わせて「150周年記念焼酎-枕小酎」を薩摩酒造さんに製造してもらっています。

例年は10月に行う芋の収穫ですが、今年は早めに収穫し、薩摩酒造さんに「美味しい焼酎をつくってください」と贈呈式を行いました。

子供たちが一生懸命掘った芋は「高系（こうけい）14号」、通称「ベにさつま」という品種で、甘みのある美味しい焼酎ができるそうです。



「手掘り」で苦労して芋を掘り出す子供たち

立神小学校では8月1日の出校日に、地域の高齢者を学校に招いて6年生約30人が戦争についての話を聞きました。立神小学校で毎年取り組んでいる行事で、立神地区公民館の青少年講座の一つにもなっています。この日は、戸床安孝さんと小田弘さんが話をしてくれました。

小田さんは、枕崎沖に沈んだ戦艦大和や枕崎空襲の写真などをDVDで上映して解説しました。また、表に戦争被害の写真、裏に枕崎の戦後復興の写真を印刷し、ラミネートして子供たち全員に手渡しました。



戦争について語る戸床さん、右は小田さん

## ～地域の高齢者を招き戦争体験談～ 立神小学校

戸床さんは、「枕崎市は漁業基地として栄え、戦時中は造船所として軍用船を建造していたため、たびたび空襲を受け、昭和20年7月29日の枕崎大空襲で市街地の9割が焼け野原になった。」と説明し、「戦争は形ある物だけでなく、すべてのものを破壊する」「平和を強く望んで、限られた命を大切にしてほしい」と子供たちに訴えました。

また、お二人とも「私たちの先輩達は、戦争や枕崎台風の被害から立ち上がって枕崎を復興した。先輩達の苦労と努力で現在の枕崎があることを知ってほしい」と熱く語っていました。



## ～ついに収穫！ わたしたちの米～ 桜山小学校

4月に田植えをしてから約4か月。今回も校区内で農業を営む山崎己代治さんとJAの方に指導していただきながら稲刈りを行いました。

まずは鎌を使っての手刈り。子供たちは、はじめはうまく鎌を扱えず、上手に刈ることができません。昔は全てを鎌で刈っていたと思うとびっくりです。

手刈りで機械が入るスペースを確保し、次はコンバインで刈りました。子供たちも一緒に機械に乗せてもらい、とても貴重な経験をさせていただきました。

収穫したもち米は、12月の餅つき大会で使用し、うるち米は、家庭科の調理実習で自分たちで炊いて食べますが、秋の桜山小PTAバザーでの販売も行う予定です。たくさんの方にぜひ食べてほしいです。



鎌を持って手刈りで稲を刈る子供たち

別府校区の恒例行事である「ふれあい交流グラウンドゴルフ大会」が8月19日に4年振りに開催され、小学生、育成会、高齢者など、54名の参加で別府小学校の校庭が笑顔で満ちあふれました。



子供から高齢者まで笑顔でプレー

## ～ふれあい交流グラウンドゴルフ大会 別府小に歓声響く～ 別府校区

今年で22回目の大会で、今までは小学4年から6年までの参加でしたが、今回は1年生から3年生までの参加もあり、低学年は育成者が同行してプレーを行いました。

5・6年生以外は初めてのグラウンドゴルフ体験でしたが、チームに分かれて高齢者からボールの打ち方を教わりながら笑顔でプレーしていました。

別府郵便局提供の「身長・体重当てクイズ」の賞品もあり、和やかな雰囲気の中、参加者は個人・団体の優勝を目指してプレーし、珍プレーやホールインワンなどの好プレーも見られました。

## ～夏休み青少年講座 第2弾 書道教室～ 枕崎地区公民館

ボランティアの中山香一郎さんが、夏休みの習字課題の書写指導を行いました。

枕崎小の児童6人が参加し、1日目に課題の練習をして、2日目に清書という日程で、薩摩酒造の「新酒祭り」の課題に取り組みました。

3年生以下は「いも」、4年生以上は「新酒」の文字を中山さんが手本を書いて、「筆は寝かさないで垂直に持つ」「机と肘が水平になるように構える」などを説明し、手を取りながら文字を書く指導を行いました。

子供たちはめきめき上達し、清書ではそれぞれが自分でも満足いく作品を書き上げていました。

新酒祭りでぜひ入賞して欲しいです。

枕崎地区公民館の夏休み青少年講座第2弾「書道教室」が、8月2日と3日に枕崎地区公民館で行われ、ボ



小筆の使い方を指導する中山さん(右)